

2014年6月18日

マンションの直貼りフローリングを“住みながらリフォーム”
既存床をはがさない床暖房対応フローリングを商品化
～遮音性能と歩行感を技術研究所等で検証～

(株)長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、社長：辻 範明）は、このたび、フローリングメーカーの朝日ウッドテック(株)（本社：大阪府大阪市、社長：海堀 芳樹）、電気式床暖房メーカーの(株)サンマックス（本社：東京都港区、社長：中澤 千恵美）の2社と共同で、マンションの直貼りフローリング^(※1)を“住みながらリフォーム”する、床暖房対応フローリング（商品名：『暖c e r - R』、特許出願中）を商品化しました。

『暖c e r - R』は、2002年6月に当社が開発した「遮音電気式床暖房システム」（商品名：暖c e r）の床暖房仕様を継承したリフォーム商品で、既存の直貼りフローリングを剥がさずに貼り重ねる工法により、短期間^(※2)に住みながらリフォームすることができます。また、施工性・床性能については、当社の技術研究所等で検証を実施し、歩行時のほど良い硬さと高い遮音性能^(※3)を確保しています。

施工時には、フローリングの解体・撤去が不要なため、騒音や室内の汚れを抑制するとともに、貼り合わせる際には専用テープを使用するため、接着剤等の特有の臭気も発生させず、お客様への負担を抑えることができます。

今後は、内外装リフォームを手掛ける(株)長谷工リフォーム（本社：東京都港区、社長：鹿倉 克幸）が、フローリングの“住みながらリフォーム”を既存マンションのお客様へ積極的に提案してまいります。

(※1) コンクリートスラブの表面に遮音フローリングを施工（接着剤で貼る工法が一般的）したもの。

(※2) 既存フローリングの解体・撤去、施工後の養生期間が不要な分、従来の工法より施工期間を短縮できます。

(※3) LL45に相当（朝日ウッドテック遮音試験室での測定結果）

【『暖c e r - R』の特徴】

- 直貼りフローリングを床暖房対応フローリングに短期間で“住みながらリフォーム”
- 当社の技術研究所等において、施工性・床性能（遮音性・歩行感）の検証を実施
- 既存フローリングの解体・撤去に伴う騒音・室内の汚れや新しいフローリングを上貼りする際の接着剤の臭気をなくし、お客様への負担を抑制
- 省廃材で環境に配慮
- 床暖房の施工範囲やフローリングのカラーセレクトなどお客様のニーズに対応
- 床暖房は、少ない電気容量で素早い温度上昇・均一な温度分布



【『暖cer-R』を施工している様子】

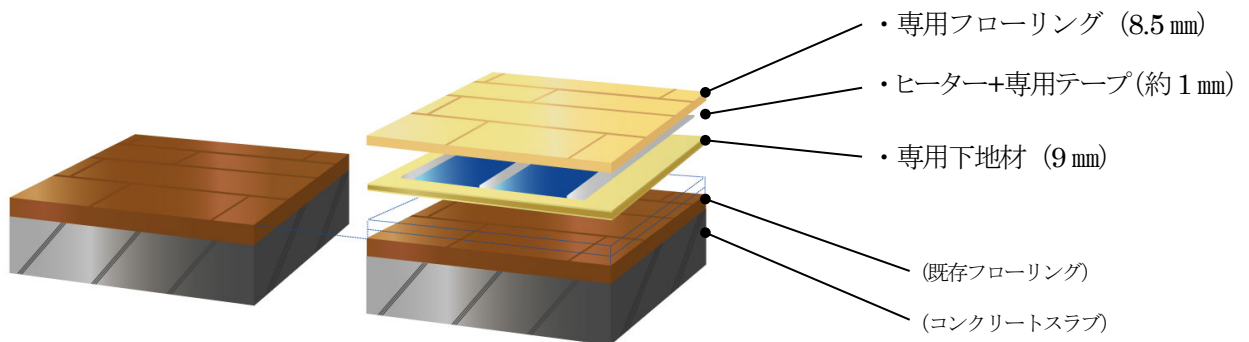
【開発の経緯】

- ・これまで直貼りフローリングをリフォームする場合、既存のフローリングを剥がして行う工法が主流でしたが、フローリングの解体・撤去を行う際の騒音・室内の汚れや、場合によっては仮住まいが必要になるなど、居住者にとって大きな負担となっていました。

【『暖cer-R』の仕様】

（構造断面）

- ・既存の直貼りフローリングの上に専用下地材、ヒーター+専用テープ、専用フローリングの順に上貼りします。（上貼り厚さは約18.5mm）



（床暖房機能）

- ・少ない電気容量で素早い温度上昇・均一な温度分布
- ㈱メカ・エンジ（本社：長野県茅野市、社長：眞道 洋一）製のシート状ヒーター、時間差回路別ON/OFF制御^{（※4）}の機能を持ったコントローラーを採用

（※4）敷設面積を4回路に分割し、時間差で回路ごとに電流をON/OFFします。

【外 販】

発売日：2014年6月～

価格：オープン価格

【外販問い合わせ窓口】

㈱サンマックス

営業部 副部長 山崎 翔

03-5775-1135

朝日ウッドテック㈱

集合アメリカ営業部 グループ長 沢辺 和人

03-5569-5514